

令和4年度 主な事業計画

事業項目	実施時期
第1 消防思想普及啓発事業	
1. 火災予防運動の推進	年間
2. 殉職者慰霊に関する事業	
(1) 秋田県殉職消防職・団員慰霊祭	令和4年9月6日
(2) 全国消防殉職者慰霊祭	令和4年9月15日
3. 広報紙の発行とホームページの開設	
(1) 新聞「消防秋田」の発行	隔月(原則偶数月)
(2) ホームページでの情報提供	年間
第2 地域消防防災力向上推進事業	
1. 消防団員の教養研修	
(1) 支部が行う現地教養研修	年間
(2) 第73回秋田県消防大会の開催(鹿角市)	令和4年7月23日
(3) 各種研修会等への参加	
・女性消防団員教育	令和4年10月8日～9日
・全国女性消防団員活性化大会(徳島市)	令和4年11月22日～23日
・消防団員指導員研修	令和4年11月26日～27日
・第49回消防団幹部特別研修	未定
・第22回消防団幹部候補中央特別研修(男性)	未定
・第22回消防団幹部候補中央特別研修(女性)	未定
2. 消防操法大会の開催	
(1) 第59回秋田県消防操法大会	令和4年8月20日
(2) 第29回全国消防操法大会(千葉県市原市)	令和4年10月29日
3. 消防団活動の活性化	
(1) 全県消防団長研修	令和4年11月11日
(2) 女性消防団ネットワーク会議	令和4年12月3日
(3) 第3回若手消防団員交流会	未定
第3 消防職団員福利厚生事業	年間
第4 消防互助会事業	年間
第5 会議の開催	
(1) 定時評議員会	令和4年5月13日
(2) 理事会	年3回開催
(3) 会計監査	令和4年4月15日
(4) 消防実務担当者会議	令和4年6月3日

令和四年度
事業計画・収支予算承認される
秋田県消防協会

秋田県消防協会第三回理事会が二月二十五日(金)、イヤタカ(秋田市中通)で開催され、令和四年度事業計画案や収支予算案が承認されました。



題字 初代会長 松野盛吉
定価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人 秋田県消防協会
〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
http://www.shoubou-akita.or.jp
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp
印刷 株式会社 松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29
電話 018-862-8760
http://www.matsubarainsatsu.co.jp

このほか、定時評議員会を五月三日(金)に、第七三回秋田県消防大会を七月二三日(土)に鹿角市で開催することも承認されました。
また、秋田県から「地域防災力向上シンポジウム in 秋田 2022」が映像配信に変更されたことが報告されました。

令和4年度収支予算 (単位:円)

勘定科目・主な事業費	予算額
事業活動収入計	30,270,200
消防互助会掛金	4,980,000
事業収入	137,500
補助金等	11,329,600
負担金	6,506,000
年会費	6,840,000
その他収入	477,100
事業活動支出計	30,053,000
火災予防運動の推進	900,000
殉職者慰霊事業	913,000
現地教養研修費(支部研修)	979,000
秋田県消防大会費	890,000
秋田県消防操法大会費	1,322,000
支部消防操法大会助成費、表彰費	734,000
全県消防団長研修会費	261,000
女性消防団ネットワーク会議費	331,000
若手消防団員活性化推進会議費	512,000
その他支出	23,211,000
当期一般正味財産増減	217,200
一般正味財産期首残	115,573,000
一般正味財産期末残	115,790,200
基本財産	3,000,000

令和三年度 消防功労者表彰

令和三年度の消防功労者表彰の受章者が決まりました。

消防庁長官表彰が八〇名の個人の方々、日本消防協会長表彰が四機関と六二名の個人の方々です。

三月一日(金)秋田県庁第二庁舎で予定されていた表彰式は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止されました。

そのため、表彰状を各市町村及び各支部に送付し、各地域で伝達していただきました。

受章された皆様の永年にわたるご功績に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (2名)

大仙市消防団	団 長	佐 藤 一	美郷町消防団	団 長	高 橋 正 尚
--------	-----	-------	--------	-----	---------

◆永年勤続功労章 (78名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 正 監	佐 藤 広 樹	秋田市消防本部	消 防 監	坂 本 聖 樹
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	洪 谷 徹	大館市消防本部	消 防 司 令 長	虻 川 茂 樹
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	大 高 英 人	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	柏 谷 伸 幸
横手市消防本部	消 防 司 令 長	熊 谷 浩	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	齋 藤 淳
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	嵯 峨 守	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 幸 徳
由利本荘市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 英 樹	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 文 俊
由利本荘市消防本部	消 防 司 令 長	土 田 正 彦	横手市消防本部	消 防 司 令 長	中 川 原 一 智
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	畑 山 敦	男鹿地区消防本部	消 防 司 令 長	渡 部 伸 明
鹿角広域行政組合消防本部	消 防 司 令	阿 部 茂 雄	北秋田市消防本部	消 防 司 令	小 塚 儀 彦
湖東地区消防本部	消 防 司 令	齊 藤 英 範	能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	佐 藤 敏

由利本荘市消防団	副 団 長	阿 部 昭 彦	秋田市消防団	副 団 長	櫻 庭 信 一
にかほ市消防団	副 団 長	佐々木 良 二	鹿角市消防団	副 団 長	洪 谷 照 幸
男鹿市消防団	副 団 長	杉 本 一 敏	北秋田市消防団	副 団 長	長 岐 邦 雄
秋田市消防団	副 団 長	那 須 潤 昌	大館市消防団	副 団 長	鳴 海 正 春
潟上市消防団	副 団 長	古 戸 信 雄	八郎潟町消防団	副 団 長	渡 部 浩
大館市消防団	分 団 長	虻 川 博 司	五城目町消防団	分 団 長	石 川 嘉 博
湯沢市消防団	分 団 長	石 成 寿	秋田市消防団	分 団 長	伊 藤 朗
横手市消防団	分 団 長	伊 藤 信 市	由利本荘市消防団	分 団 長	遠 藤 勝
秋田市消防団	分 団 長	小 野 悟	横手市消防団	分 団 長	加 藤 明 彦
大仙市消防団	分 団 長	加 藤 博 文	大館市消防団	分 団 長	川 口 幸 雄
秋田市消防団	分 団 長	川 邊 功	八峰町消防団	分 団 長	工 藤 篤
三種町消防団	分 団 長	熊 谷 勉	大仙市消防団	分 団 長	熊 谷 登
能代市消防団	分 団 長	小 林 良 蔵	大仙市消防団	分 団 長	齋 藤 廣
仙北市消防団	分 団 長	櫻 田 英 喜	由利本荘市消防団	分 団 長	佐々木 功
横手市消防団	分 団 長	佐々木 茂 一	由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 一 弘
男鹿市消防団	分 団 長	佐 藤 智	横手市消防団	分 団 長	佐 藤 仁
東成瀬村消防団	分 団 長	鈴 木 清 一	男鹿市消防団	分 団 長	鈴 木 豊 則
鹿角市消防団	分 団 長	関 清 考	羽後町消防団	分 団 長	高 橋 清
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 茂	由利本荘市消防団	分 団 長	高 橋 豊 昭
横手市消防団	分 団 長	高 橋 良 昭	鹿角市消防団	分 団 長	田 中 豊
美郷町消防団	分 団 長	照 井 浩	藤里町消防団	分 団 長	土 佐 満
仙北市消防団	分 団 長	戸 村 純 厚	大仙市消防団	分 団 長	西 村 孝 毅
湯沢市消防団	分 団 長	西 村 一	横手市消防団	分 団 長	平 良 木 広
北秋田市消防団	分 団 長	藤 嶋 和 政	井川町消防団	分 団 長	湊 一
北秋田市消防団	分 団 長	宮 腰 貢	秋田市消防団	分 団 長	武 藤 謙 一
湯沢市消防団	分 団 長	村 上 保 雄	大館市消防団	分 団 長	山 内 信 義
能代市消防団	分 団 長	吉 田 孝 悦	湯沢市消防団	副 分 団 長	佐 藤 利 己
湯沢市消防団	副 分 団 長	菅 野 繁 一	大仙市消防団	副 分 団 長	竹 原 修 悦
大潟村消防団	部 長	田 口 幹 雄	小坂町消防団	班 長	成 田 孝 志

日本消防協会会長表彰

◆表彰旗 (1 消防団)

北秋田市消防団

◆竿頭綬 (3 消防団)

藤里町消防団 由利本荘市消防団 湯沢市消防団

◆功績章 (18名)

鹿角市消防団	副 団 長	前 田 幸 栄	大館市消防団	班 長	田 畑 美智代
北秋田市消防団	団 長	杉 渕 一 弘	上小阿仁村消防団	副 団 長	加賀谷 和 敏
三種町消防団	団 長	石 井 義 則	藤里町消防団	分 団 長	佐々木 文 孝
五城目町消防団	団 長	小 玉 多智美	井川町消防団	団 長	三 浦 公 徳
秋田市消防団	分 団 長	鈴 木 清 博	秋田市消防団	分 団 長	古 井 啓 司
由利本荘市消防団	副 団 長	阿 部 昭 彦	にかほ市消防団	副 団 長	佐々木 達 行
大仙市消防団	副 団 長	大 友 金已知	美郷町消防団	副 団 長	大 坂 久 男
横手市消防団	分 団 長	珍 田 藤 雄	横手市消防団	分 団 長	佐 藤 晴 得
湯沢市消防団	分 団 長	村 上 保 雄	湯沢市消防団	副分団長	藤 原 幸 雄

◆精績章 (44名)

鹿角市消防団	副 団 長	洪 谷 照 幸	鹿角市消防団	分 団 長	佐 藤 智
大館市消防団	副 団 長	佐 藤 良 二	大館市消防団	分 団 長	小 畑 秋 彦
北秋田市消防団	分 団 長	佐 藤 俊 夫	北秋田市消防団	分 団 長	宮 腰 貢
大館市消防本部	消 防 監	畠 山 一 則	能代市消防団	分 団 長	井 上 正 文
能代市消防団	分 団 長	渡 邊 博	三種町消防団	分 団 長	熊 谷 勉
八峰町消防団	分 団 長	金 谷 弘 美	男鹿市消防団	分 団 長	船 木 幸 彦
男鹿市消防団	班 長	清 水 孝 子	潟上市消防団	副 団 長	古 戸 信 雄
五城目町消防団	分 団 長	石 川 嘉 博	井川町消防団	副 団 長	二 田 一
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 幸 徳	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	嵯 峨 守
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	佐 藤 文 俊	秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 正 博
秋田市消防団	分 団 長	田 中 重 之	由利本荘市消防団	分 団 長	須 田 充
由利本荘市消防団	分 団 長	熊 谷 忍	由利本荘市消防団	分 団 長	堀 嘉 哉
にかほ市消防団	副 団 長	佐々木 良 二	にかほ市消防団	分 団 長	齊 藤 猛
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	安 藤 義 幸	大仙市消防団	副 団 長	進 藤 文 隆
大仙市消防団	副 団 長	小 柳 伸 一	大仙市消防団	班 長	一 色 順 子
仙北市消防団	分 団 長	石 郷 岡 秀 雄	美郷町消防団	分 団 長	照 井 浩
横手市消防団	分 団 長	高 橋 良 昭	横手市消防団	分 団 長	佐 藤 一 生
横手市消防団	分 団 長	佐 藤 通 洋	横手市消防団	分 団 長	山 田 鉄 夫
横手市消防団	分 団 長	佐 藤 仁	横手市消防団	分 団 長	伊 藤 信 市
東成瀬村消防団	分 団 長	佐々木 芳	湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 茂
羽後町消防団	分 団 長	武 田 哲 雄	湯沢市消防団	副分団長	菅 野 繁 一
湯沢市消防団	副分団長	金 子 誠 悦	湯沢市消防団	副分団長	佐 藤 利 己

第二回若手消防団員交流会を開催しました

第二回若手消防団員交流会は二月五日(土)、オンラインで開催されました。

当初、若手が集まり講演とグループディスカッションを行う予定でしたが、感染拡大を受けオンラインによる講演のみとし、一九消防団から二八名が参加しました。

講演では、元横浜市消防局職員で現在は保土ヶ谷消防団本部アドバイザーを務める丸山正美氏が、消防団員が活動しやすい環境づくりについて解説しました。丸山氏は、やる気を起こす訓練の実践例として、

- ①ムリをさせない。
- ②時間厳守。長くやらない。訓練は一時間。
- ③理解が大事。訓練礼式など意味を必ず説明する。
- ④普段の活動に「+α」を加える。

新しいことの吸収は「ためになる」「役に立つ」という認識に繋がる。などを挙げました。

また、指導する保土ヶ谷消防団では、①災害対応力の高い消防団 ②愛される消防団 ③カッコイイ消防団 をスローガンとしており、令和三年度に六年連続で充足率一〇〇%(定員四〇〇名)を達成したことが紹介されました。



会議の様子



板橋知也リーダーあいさつ



丸山 正美 氏

若手消防団員活性化推進会議

三月一八日(金)、第三回若手消防団員活性化推進会議をオンラインで開催しました。

平成三〇年七月に、若手を対象とした行事を開催することを目標として二人による準備委員会を立ち上げて以来、同じメンバーで活動してきたこの会議も今回が最後となりました。

この間、令和元年に企画した秋田テレビ開局五〇周年「AKT大感謝祭」での消防団PRブース開設が大台風の接近により中止になったり、令和二年度と三年度の交流会が、新型コロナウイルスの影響により縮小を余儀なくされるなど困難がありました。が、消防団活動の中核を担う若手が情報交換し声を上げようという気運の端緒を開くことができました。

令和三年度で現メンバーは全員退任し、四年度に新メンバーが路線を引き継ぎ、新たな行事や発信方法を検討することになります。

なお、現メンバーの活動内容は、七月二三日(土)鹿角市で開催する第七三回秋田県消防大会で発表することになっています。

第四五回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第四五回消防職員意見発表秋田県大会は、映像審査により行われ、最優秀賞一名、優秀賞三名が選ばれました。

本稿では、最優秀賞に輝いた高橋奎人さんの意見を紹介します。

■最優秀賞

大曲仙北広域消防本部

消 防 士 高 橋 奎 人

■優秀賞

大館市消防本部

消 防 士 高 橋 侑 宏

横手市消防本部

消 防 士 仙北谷 将 平

能代山本広域消防本部

消 防 士 長 中 村 元 氣

一番身近なAED

大曲仙北広域消防本部

高 橋 奎 人

皆さんは、自分の一番身近にあるAEDがどこにあるか知っていますか？

現在、学校やコンビニエンスストアなどにもAEDは設置されており、私自身AEDが設置されている大抵の場所は把握しているつもりでした。しかし、救命講習で訪れた福祉施設や会社などにもAEDは設置

されており、消防士でありながら、その設置場所を把握しきれていないと感じました。そして、実際の現場でAEDを使うことがあるかもしれない地域住民の方々は、その設置場所をどのくらい知っているのだろうかという疑問が生まれました。

この疑問を救命講習の際に地域住民の方々に聞いてみると、「人がいっぺいる場所さ置いてあるってことは分かるけど、すぐ近くの場所って言われるとピンと来ねな。」といった声がほとんどでした。さらに、SNS上で同じ質問を友人にしてみたところ、実に八割の人が一番身近にあるAEDがどこにあるか分からないと答えたのです。

AEDの設置が推進されてから約二十年も経っているにもかかわらず、ある統計では、一般市民によるAED使用率は、4.7%と実際は地域住民の方々に浸透しきれていないという事実がここにはあります。

この状況を少しでも改善したいと考えた私は、勤務する協和地区の公共施設に設置されているAEDの場所を広報誌に載せてみることにしました。すると、「思っていたよりも近くにあってびっくりした。」「こういった一覧表があればすごく助かる。」「という反響がありました。また「いつも持ち運べて、もしもの時にパッと見られる物があれば。」という意見もありました。

これを受け、常に持ち歩いてAEDの設置場所が一目で分かるQRコード付きの「AEDスポットカード」を作成し、同僚の家族に配布してみました。すると、「もし自分の家族や近所の方が倒れたらと思うと、これがあればスマホでもこのカードでも子供からお年寄りまで誰でもすぐに近くのAEDを取りに行ける。」「QRコードをコピーして家族と共有したり、誰かに送ることもできるから広めやすい。」といった多くのポジティブな意見があり、小さな一歩ですが、AEDを身近に使用してもらおうきっかけになると確信しました。

この「AEDスポットカード」を広報誌や避難訓練、救命講習など様々な機会を通して各地域で広め、幅広い世代に広く普及させていきたいと思えます。そして、それらを利用しながら定期的にカードを最新版に更新していくことで、地域住民による、より質の高い一次救命処置が行われ、命を救える可能性を高めていくことができると考えます。

子供からお年寄りまで、誰でもいつでも身近にAEDを使ってもらえるよう、私は今日も問いかけます。「あなたの一歩身近にあるAEDは、どこにありますか?」
今から始めましょう。あなたの大切な人を救うために。

意見発表のテーマと発表者名

- これからの119
鹿角広域行政組合消防本部 宮本海青
- 私が考える人材育成
にかほ市消防本部 須藤憂真
- 住宅火災対策の新常識
北秋田市消防本部 堀部駿輝
- あなたの119番です
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 阿部晃治
- 緊急通報について考えてみた
男鹿地区消防一部事務組合消防本部 今井大地
- 里山の警防計画
大館市消防本部 高橋侑宏
- 災害に強いまちを目指して
由利本荘市消防本部 真坂公章
- 一番身近なAED
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 高橋奎人
- 改訂版・Q助
横手市消防本部 仙北谷将平
- 災害現場に潜む健康リスク
五城目町消防本部 中道聖也
- やればできる
能代山本広域市町村圏組合消防本部 中村元気
- 誰ひとり取り残さない
湖東地区消防本部 菅原俊
- 笑顔のきっかけ
秋田市消防本部 三浦聖史



高橋侑宏さん(優秀賞)



高橋奎人さん(最優秀賞)



中村元気さん(優秀賞)



仙北谷将平さん(優秀賞)

「地域防災力向上シンポジウム in 秋田 2022」が映像配信 されています

二月一二日(土)に秋田市で開催
が予定されていたシンポジウムは、
新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、収
録映像をインターネットで配信する
方式に変更されました。

収録映像は消防庁のHPに公開さ
れており、当協会HPのトップピクス
からアクセスできます。是非御覧く
ださい。

【シンポジウムの目的】

地域防災力を向上させるため
は、消防機関や行政に加え、新たな
担い手として期待される女性や若者
を始めとした地域住民、事業者、医
療、福祉、教育など、各界各層の連
携協力が不可欠であり、地域住民一
人一人が防災に対する理解を深める
ことが重要です。

このシンポジウムは、こうした考
えを国民に共有してもらうことを目
的として、消防庁、秋田県、秋田
市、当協会の主催により企画され
たものです。

今年度は、本県のほかに、長崎
県、青森県、徳島県でも開催してい
ます。

基調講演①

「秋田県の震災の歴史に学ぶ」

今後の防災対策」

秋田大学地方創生センター 教授

水田 敏彦氏

【講演要旨】

本県は大陸プレートとの構造上地震
が多い地域で、地震災害には二つの
シナリオがある。一つは、海底を震
源とするもので、広域に被災し海岸
近くに津波と震動被害をもたらす。
もう一つは、活断層による内陸直下
型で局所的に甚大な被害となる。

明治以降の大地震(陸羽地震、秋
田仙北地震、男鹿地震、日本海中
部地震)は、どちらかのシナリオに当
てはまる。過去の災害を学び、日頃
から地域のリスクを知っておくこと
が大切だ。



水田 敏彦氏

基調講演②

「アウトドア防災で住民参加型
の防災まちづくり」

命を守る防災への挑戦」

日本赤十字秋田看護大学
介護福祉学科 講師

及川 真一氏

及川 真一氏

【講演要旨】

東日本大震災の教訓は、「災害対
応に想定外があつてはならない」
「常日頃から災害に備える姿勢が命
を守る」ということ。従って、防災
を学ぶ時の「難しい、怖い、強制
的」というイメージを「簡単、楽し
い、参加型」に変えて、日常の延長
で学ぶことができれば使える防災力
が身に付く。身近な物で非常時の必
需品を代替したり、お洒落なカフェ
で防災食を作るなど、年間一万人以
上の県民が防災を学んでいる。楽し
んで学び地域防災力の向上につなげ
る「新しい防災」を実践している。



及川 真一氏

パネルディスカッション

「各防災関係組織の活動と取組
相互理解から向上する地域防災」

「パネリスト」

旭南地区自主防災組合連合会 会長

佐々木久左エ門氏

秋田県防災士会 理事長

渡辺 勝 治氏

秋田市社会福祉協議会 課長補佐

戸島 健 人氏

秋田市消防団城東分団 班長

藤井 瑛 昌氏

秋田市消防団上北手分団 班長

松本 恵 氏

「コーディネーター」

秋田大学地方創生センター 教授

水田 敏彦氏



パネリストの皆さん

災害活動車が交付されました

日本消防協会から秋田市消防団に福祉増進事業による車両が交付され、同消防団から御礼のメッセージが寄せられました。

本消防団は三二分団で団員数一六八六名が在籍しております。

近年、災害が複雑多様化・大規模長期化する傾向にある中で、消防団と常備消防が連携し活動することが被害を最小限に抑えることに繋がります。

今回交付を受けました新車両は、災害時には現場活動や広報活動、人員の輸送、団員の休息スペースとして活用することにより、消防団の機動力と活動範囲の拡大が図られ常備消防との更なる連携強化が期待されます。

また、消防訓練や各種行事には消防団が主体となって活動することが可能となり、より地域に密着した防災教育と防災思想の普及につながるものと考えます。

今後も交付いただいた災害活動車を有効活用し、地域住民が安全安心に暮らせるまちづくりを目指していきます。



お知らせ

新型コロナウイルスの感染に伴う福祉共済入院見舞金の取扱い

福祉共済の加入者である消防団員が感染者又は濃厚接触者となった場合、入院見舞金が支給されます。

取扱いは次のとおりです。申請の手続きについては、所属消防団にお問合せください。

【感染者(陽性者)】

- 医療機関に七日以上入院した場合
- 保健所等の行政機関管理の下で七日以上宿泊療養・自宅療養した場合

※保健所等が発行する就業制限開始日及び就業制限解除日が分かる書類が必要

【濃厚接触者】

- 公務としての消防団活動が原因で、保健所から濃厚接触者と判断され、外出が制限されて自宅待機や就業制限となった期間が七日以上の場合

※加入者である消防団員が、公務としての消防団活動が原因で保健所から濃厚接触者と判断されたこと及びその期間等を消防団長が証明した書類が必要

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880
FAX (0182) (32) 0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	消防設備保守点検
トーハツポンプ	キンパイホース
各種消防機械器具	各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 消火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

支部情報アラカルト

五城目町消防団

火災防ぎよ訓練を実施

四月三日(日)、春の火災予防運動の一環として、消防団員の機器取扱い・操作の習熟等消防技術向上や消防精神の錬成、地域住民の防災意識高揚を目的に、町内の三か所を会場に団員五十八名参加のもと、五城目町消防団火災防ぎよ訓練を行いました。

訓練は強風・乾燥注意報が発令され、消防機関が警戒を強めている中で建物火災が発生、火煙が強風にあおられ延焼の危険性が增大しているとの想定で、各分団長の指揮に従い複数分団が協力して地域ごとに実施され、消防団長や副団長の評価を受けました。

今回の訓練では、水利の確保から放水開始までの迅速性や確実性に加え、指揮者の隊管理やトランシーバーを使った情報収集及び情報の伝達共有に重点を置き、各分団の連携を図りました。

訓練後は消防団長から講評を受け、団員間で反省点を共有し、今後の火災発生時に向け活発な意見交換が行われました。

これから火災の発生しやすい時季を迎えますが、消防団では消防本部と連携して今後も訓練を重ね、火災のみならず多様化する災害に適切に対応し、地域の安全安心に努めていきます。



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和4年		令和3年			同期比較	
	3月	累計	3月	累計	年計	3月	累計
建 物	15	46	18	64	186	- 3	-18
林 野	1	1	2	3	24	- 1	- 2
車 輛	1	6	2	5	32	- 1	1
その他	3	10	5	6	78	- 2	4
合 計	20	63	27	78	320	- 7	-15
死者数	1	8	1	10	24	0	- 2
負傷者数	5	14	6	11	49	- 1	3

(情報提供) 男鹿潟上南秋支部



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651